



ひかりのこ

2025年度 **4月号**

日本キリスト教団
名古屋新生教会 子どもの礼拝(CS)
 名古屋市西区天神山3-7
 Tel.052-531-1820
 ホームページはQRコードから→



春の花といえば桜を思い浮かべるのではないのでしょうか。今年の名古屋の桜開花は3月26日でした。入学式前後には満開を迎え、一番の見頃になりそうです。みなさんの新学期に彩りで祝福しているようですね。桜ばかりが目立ちますが、この時期には他にも多くの花が咲いています。街路樹のモクレンが白や薄紫の花をつけ、足元にはタンポポの黄色や、オオイヌノフグリの水色を見つけることもできます。いろんな花が春の訪れを告げています。



2025年度が始まり、みなさんは1つずつ進級し、新たな学年になりました。小学校、中学校、高校、大学へと進み、新生活が始まったお友だちもいますね。春は新たな出会いのときでもあります。その出会いを大切に、その出会いを通して神さまの導きを感じ、神さまとの出会いも大切にしましょう。

2025年度 子どもの礼拝 (CS = Children's Service)

- ✦ ティーンズ礼拝 (小4~中学生) 9:00~
- ✦ こどもれいはい (幼児~小3) 10:00~
- ・名古屋新生教会 牧師：安達正樹
- ・子どもの礼拝 代表：武岡 基

今年度もティーンズ礼拝では、礼拝への主体的な関わり方を重視していきます。礼拝が受け身にならないよう、積極的に関わり、「みなさんによる礼拝」を大切にしてもらいたいと願っています。そして、プレイ・タイムや教会行事などでも、みなさん一人ひとりが作り出す「自分たちの時間」となるような工夫を取り入れ、教会が「自分たちの居場所」になればと願っています。

今月の礼拝 単元18: 十字架と復活②

📖 …お話 🎵 …奏楽

月日	週 題	聖書箇所	ティーンズ礼拝 (小4~中学生) 9:00~9:30	プレイ・タイム (小学生/中学生) 9:35~9:55	こどもれいはい (幼児~小3) 10:00~10:20
4月6日	捕らえられたイエス	ルカによる福音書 22:31-34、47-71	📖 武岡 基 🎵 武岡路実	イースターに向けて たまごカード作成	📖 武岡路実 🎵 安達いづみ
4月13日	十字架上の祈り	ルカによる福音書 23章	📖 武岡路実 🎵 安達いづみ	イースターに向けて たまごカード作成	📖 武岡 基 🎵 武岡路実
4月20日 イースター	復活の朝	ヨハネによる福音書 20:1-18	📖 安達正樹牧師 🎵 安達いづみ	イースター たまご探し	📖 安達正樹牧師 🎵 安達いづみ
4月27日	復活の主とトマス	ヨハネによる福音書 20:19-31	📖 武岡 基 🎵 武岡路実		📖 安達いづみ 🎵 武岡路実

※聖書箇所やお話の内容・担当者は、変更することがあります。

いつもどおり礼拝を守ります。
 ティーンズ礼拝 (小4年~中学生) 9:00~
 「たまご探し」※ 9:30~
 こどもれいはい (幼児~小3年) 10:00~
教会に来ていないお友だちも誘って、ぜひ参加してください！



今月の聖句 (2024年度教会聖句)

つね しゆ おほ 常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば主はあなたの道筋をまっすぐにしてください。
みち ある しゆ みちすじ
 (箴言3:6)

今月のさんびか♪

こどもさんびか 114 (やさしいめが) 讃美歌21…407



4月の礼拝では、イースター(復活日)に向けて、イエスさまが受けられた苦難と復活、そして周りにいた弟子たちの思いについて学んでいきます。イースターは、十字架にかけられて亡くなったイエスさまが、その3日目に復活したことを祝う「復活日・復活祭」です。

今月のさんびかは「やさしいめが」です。この賛美歌は『ともに歌おう』(1976)、『こどもさんびか2』、『讃美歌21』に採用された日本で生まれた創作賛美歌です。すでに半世紀近くに渡って歌われている親しみある賛美歌です。「主われを愛す」は古くから歌い継がれた名曲ですが、それに匹敵する現代版賛美歌と言ってもいいでしょう。

作詞者の深沢秋子さん(1931-)は青山学院大学で英文学を学び、長年に渡って中学校で英語教師として勤められました。イエスさまの人となりや「やさしい目、きよらかな目」「大きな手、あたたかい手」「かぎりない広い心」という言葉で表現し、その目、その手、その心が私たちを守ってください、とわかりやすい言葉でまとめています。「日々の生活の中で、弱い信仰の歩みを、主イエスさまが支えてくださっていることを感じます。主のまなざしが注がれ、み手がさしのべられ、主の愛に満たされていることを知られます。」と語っておられます。

作曲者の小山章三さん(1930-2017)は、度々このコーナーでも紹介しているように、たくさんの賛美歌を手がけています。この賛美歌以外に「こどもさんびか改訂版」では、49かみさまは そのひとりごを、88イースターのあさはやく、118イエスさまがきょうかいを、137かみさまにかんしゃ、が掲載されています。どれも歌いやすく、心に残る賛美歌で、つい口ずさんでしまいます。彼は、学生時代に、当時教会のなかった長野県の小さな町で開かれていた家庭集会で初めて賛美歌に出会い、1963年に受洗しました。その後、国立音楽大学を卒業され、高校や大学で音楽教師として働かれました。恩師である岡本敏明氏の召天後、彼は讃美歌委員を務めていました。この賛美歌について彼は『「やさしい目が、きよらかな目が…」』という歌い出しが、新鮮であたたかい感じなので、この詞にふさわしいメロディーとハーモニーを心がけて作曲しました。」と語っておられます。

聖書に登場する様々な場面でのイエスさまを思い浮かべるとき、この賛美歌を思い出しつつ想像してみると、イエスさまの「まなざし」「み手」「心」のイメージがさらに膨らむことでしょう。みなさんにとっても「好きな賛美歌」の一つになると嬉しいです。

おたんじょうびおめでとう🎂

4月生まれのお友だち

「たまご」と「うさぎ」

クリスマスツリーやリースがクリスマスのシンボルであるように、イースターにもシンボルがあります。「イースターエッグ」と「イースターうさぎ(バニー)」です。玉子(卵)は生命の始まりの象徴であり、殻の中にいる時間を経て、殻を割って生まれてくる様子が、イエスさまの復活を表しています。うさぎは多産であることから、豊穡(農作物が豊かに実ること)や繁栄を象徴しています。ドイツでは古くから、野ウサギが子どもたちにイースターエッグを運んでくるという言い伝えがあり、今ではキリスト教の国々ではこの言い伝えが広まっています。

名古屋新生教会では、毎年「たまご探し」が恒例行事となっています。「たまご探し」とは言っても、保育園と教会の園庭に隠された「たまご型のカード」を見つけ出すゲームです。本来の「エッグハント」は、芝生の広場や家庭の庭に本物のゆで玉子や生玉子をたくさん隠し、それを見つけるイースターの子ども向けイベントです。アメリカなどでは教会の広い芝生の庭や公園で行い、見つけた数を競うこともあります。大きな教会では、「庭」といってもその広さは日本での公園(名古屋新生教会の近くでしたら押切公園!)くらいの広さのところもあります。

